



校長の目 ～西小日々通信～



令和4年9月7日（水）

1年生が図工の授業で立体作品に取り組んでいました。題材名は「ふわふわごー」です。「ぴゅー」や「ぴよん」といった擬態語から動物や乗り物などを想像し、そこから発想を膨らませて作品を作ります。主たる素材はスチロールのトレイやカップなどです。子供たちは、自由な発想で色を塗ったり飾りをつけていきます。出来上がった作品は、うちわを仰いで飛ばしたり、上からひらひらと落としたりして遊びます。この題材は、作品（おもちゃ）を作って遊んで完成となります。遊ぶことで素材のよさやおもしろさを味わえるのです。私が教室に入ると、「校長先生、見て見て～！」と言いながら、作品で遊ぶところを見せてくれました。みんなとても楽しそうです。



2年生の体育では、走の運動遊びとしてハードル走に取り組んでいます。みんな元気よくミニハードルを跳び越えて走っていました。ミニハードルを使用した走の運動遊びは、いろいろな跳び方を試したり、リズムよく跳び越えたりしながら、楽しさや心地よさを体感することがねらいです。ミニハードルの間隔を変えて跳び越すと、跳び方やリズムも変化し、自分の体の使い方に気づくことも大切です。



ハードリングの姿勢やインターバルの歩数を意識して運動するのは、高学年の学習課題となります。

明日はいよいよ西小まつりです。今日の5校時は、最後の準備でした。それぞれのたてわり班が、計画にそって準備を進めます。黒板を飾り付けたり、ゲームの場を設営したり、小道具をつかったり、どの教室をのぞいても活気にあふれていました。明日の本番が楽しみです。

